

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

令和2年度 第4回理事会 議事録

開催日時：令和2年10月17日（土）13：00から

開催場所：z o o mによる会議

出席者：浅野、菅沼、加藤、渡邊（景）、武藤（延）、澤野、伊藤、渡邊（宜）、玉置、深川、武藤（次）、佐々木、近藤、榎間、笹川、寺田、林、宮内、高梨、野々部、中桐、

欠席者：市川、安江、小池

議長：浅野敦会長

議事録：渡邊（景）庶務部長

【各種連絡事項】

議長：浅野敦会長により進行された。

【庶務部より】

1. 日本臨床衛生検査技師会より連絡

(1) 会費の送金について

令和2年7月締め分、会費集金処理ができ8月28日付で銀行口座に振り込まれた。

送金内訳

令和2年度会費 10,000円×6名=60,000円

令和2年度入会金 500円×6名=3,000円

送金合計額 63,000円 の会費送金があった。

(2) 永年職務精励者誤抽出について

来年度の対象者まで抽出してしまった。その分の賞状と副賞を送付してしまったとのことで、今年度の精励者として登録しますとのこと。

(3) 結核研究奨励賞候補者の推薦について

どなたかいれば教えてください。

(4) 令和2年度日臨技推進事業研修会の送金について

令和2年上記助成金が9月30日付で銀行口座に振り込まれた。

送金内訳

8月1日生理部門（循環生理・超音波部門合同） 46,500円

- (5) 都道府県技師会オンライン研修会における生涯教育研修点数付与の確認の変更について
当初は参加確認のためのレポート提出をもって点数付与の形式をとっていたが、ログが確認できればレポートの提出を省略してもよいと通知が来た。岐阜では学び得たこととアンケートを行う目的でレポートの提出を行っている。
- (6) 各都道府県における PCR、検体採取研修の修了状況について
岐阜では PCR 基礎研修が約 60 名、検体採取は 10 名くらいが修了。実地研修が 5 回のうち 1 回延期になっている。PCR 研修は 20 名ほど修了、検体採取は自施設 1~2 名が修了。県としてはこれ以上の研修会はやらない予定なので、もし要望が強ければ技師会で企画しないといけないかも知れない。
- (7) 自民党入党のお願いについて
臨床検査技師会の発展と検査技師の地位向上のため国会議員が必要。その方のためにも数が必要なので、理事の方にはできるだけお願いしたい。

2. 県その他

- (1) 全国糖尿病週間における協賛金について
毎年 11 月に行われていて、岐臨技も協賛している。
チャットにて全員賛成により承認された。
- (2) 日本睡眠検査学会学術集会の開催形式および開催日時変更について
11 月 14 日~15 日に名市大で行われる予定でしたが、WEB 開催で 12 月 12 日~20 日まで配信される。
- (3) 都道府県ならびに政令指定都市等衛生主幹部局臨床検査技師配置状況調査について
岐阜県には感染対策推進課に 1 名の検査技師が配置されている。感染症の知識を持った人がいた方が行政としても助かるようです。今後も未知の感染症などが発生した場合に備えて、厚労省から検査技師をさらに配置するよう求める可能性がある。
- (4) PCR 検査関連業務各都道府県特別手当状況について
岐阜県には現在県立病院はないが、支払上限を設けてこの範囲で支給するよう各施設に任せている状態。地方創生交付金とふるさと納税より補助を行っている。PCR 行っている施設はほとんど出ている状況。(陽性にならないと出ない施設もある。なかには患者に接する場合(心電図・エコーなど)は増額支給の施設もある。)これから行う施設は県からも補助が出るので、病院に手当を出してもらおうよう働きかけて欲しい。

(以上浅野会長)

【岐阜地区より】

特になし

【西濃地区より】

(1) 第58回岐阜県医学検査学会について

令和2年10月9日(金) 第58回 岐阜県医学検査学会準備会議を開催し
第58回 岐阜県医学検査学会(令和元年分の移行開催分)について協議し
令和3年3月初旬を目標にオンデマンド形式にてWeb配信を計画予定。

- ◎企画構成 株式会社コムラにて見積り依頼中。
 - ◎開催予算 約30万円以内を希望。
 - ◎演者発表方法・会場 岐臨技事務所を予定し、事前録画とします。
 - ◎内容構成 演題発表のみ、10~20演題を2時間で配信予定です。
日臨技全国学会の配信を参考にしたい演題を繰り返し見て頂く仕様の予定。
 - ◎演題申込み期日 12月末日を予定。
今年3月の学会エントリーの演者様を再度確認致します。
 - ◎聴講の申し込み 令和3年2月末日を予定。
 - ◎学会参加費用 無料。
 - ◎配信方法 申し込み後、メールにて学会アドレスとパスワードを配信。
3月初旬より2~3週間オンデマンド形式にて配信予定。
- 上記内容より
座長なし
会費なし
当日会場なし
賛助会員の協賛金なし(但し案内は行う)
会長、学会長挨拶は事前収録します。

具体的な案内は理事会承認後、10月下旬にホームページにて案内資料配布予定です。

今回コロナ禍の状況で会員の日常業務に支障をきたさない為にも、正規な手順での学会開催が困難と判断した上で、新たな試みですのでご承認お願い致します。

(以上林理事)

ハイブリッドではお金がかかるので、WEB配信とした。例年県学会はこれくらいの予算なので、コムラさんに30万円くらいでお願いした。参加申し込みされた方にIDとパスワードが個々に付与されるので、誰が見たかはわかるようにする。この企画でよいか理事の方に確認したい。(浅野会長)

チャットにて全員賛成により承認された。

【飛騨地区より】

特になし

【中濃地区より】

特になし

【東濃地区より】

特になし

【学術部より】

・10月2日に部門長会議をwebで開催。今後zoomでの研修会をマニュアルに沿って開催していただきたいし、未だ1回のみなのでもっと開催してほしいとお願いした。12月に生物化学と血液部門の合同でコロナ関連の研修会が計画された。今回はメーカーの方をお願いしたので講師料は発生していないし、交通費も発生していない。日当も部門長のみで少額で開催できる。

・新人サポート研修会をライブかクラウド配信で行うかは意見が分かれた。ライブでは人数に制限があり、クラウドでは大容量になりホームページにアップして動作確認していないため問題なのではと意見があったが、4GBでの動作確認では問題なかったため期限とID、パスワードを設けて新人サポート研修会の代わりにしてはどうかと思う。(渡邊(宜)学術部長)

ライブでは講師を集めて行わないといけないので難しい。クラウドで一定期間の間にID、パスワードを設けて行う方がいいのでは。(浅野会長)

時期をいつにするか？できれば年内にホームページにアップして視聴できれば。(渡邊(宜)学術部長)

チャットにて全員賛成により承認された。

【精度管理事業部より】

・現在2次サーベイ実施中。10月23日第2回目の会議を行い、最終確認を行う。報告会ですが、webか現地開催かを次回会議で部門員の意見を確認する。

・岐阜市民病院に精度管理用冷凍庫があり、バックアップバッテリーが寿命のため、見積もりを取って交換する予定。(武藤精度管理部長)

岐阜医療科学大学なら今の状況なら申請すれば大丈夫であろう。(浅野会長)

【組織調査部】

・HIVの無料検査会と岐阜協立大学での啓発活動については実施困難ということで、今年は

中止となった。(澤野組織調査部長)

【広報宣伝部】

特になし

【渉外部】

公益目的の支出計画が8月末日に完了した。完了予定事業年度は令和6年3月31日です。
(伊藤渉外部長)

【会計部より】

収入予算が約1450万円で9月現在1115万円です。支出は事業が行なわれていないことより9月現在約450万円です。今年はコロナの影響で事業が行なわれていないため、支出が例年より少なく、このままでは黒字になる。後で会費についてお話しします。(浅野会長)

【その他】

1. 災害対策の部会について

渡邊(景)庶務部長、岐阜市民病院松山会員、兼子前会長にお願いして会長含め4名で第1回の対策部会を開いた。ひとまずこの4名でよろしいでしょうか？

チャットにて全員賛成にて承認された

以下災害対策部会議事録掲載

部会・部会員について

1. この部会は組織調査部下の組織となる。
2. 現在の部会員は浅野会長、渡邊庶務部長、松山会員、兼子会員。今後、増員を行う予定。
3. 上記部会員より、松山会員を部会長、兼子会員を書記に選出した。

活動について

1. 本部会の目的は、災害時にスムーズな対応を行うことにある。
2. 災害時対策マニュアルを見直し、必要ならば改定を行う。
→現在マニュアルの見直しを行なっている。改定後理事会に諮り承認を得る。
3. 部会会議を年間1~2回開催する。必要時には臨時会議を開催する。
4. 可能であれば、災害対策の研修会を企画・実施する。

災害時の対応について

1. 災害情報収集委員が災害情報の収集を行う。情報収集委員は各地区の理事から選出され、現在は、渡邊庶務部長、寺田理事、棚村会員、菅沼理事、玉置会計部長。

2. 情報に基づき、会長が災害対策本部設置を発令する。
3. 災害対策本部には、災害対策部会員も可能な限り本部員として参集する。
4. 日臨技の災害時支援要請連絡シートの FAX 送信などを活用し、必要な支援を確認の上、災害支援に当たる。

災害時対策マニュアル・災害発生時組織図について

1. マニュアルに、会長が災害対策本部設置の発令を行うことを追加する。
2. 組織図の「情報収集委員」を「市町村役場・会員施設」と「災害対策本部」の間に置く。
3. 組織図の「災害対策本部」に災害対策部会員を本部員として組み入れる。
4. 組織図の「被災地災害支援室」は、現在浅野会長が中部圏支部の支部長であることから、岐阜県以外の中部圏支部各県の支援室となる場合がある。その場合、災害対策部会員が支援室員として活動を行う。

その他の意見・事項

1. 日臨技のような金銭的補償は、岐臨技の規模から難しいのではないか。
2. 企業と連携して、検査機器・試薬の貸与が可能ではないか。
3. 臨床検査を別の施設で代行することは可能ではないか。
4. 災害ボランティアのような、片付けなどの作業支援は可能ではないか。
5. 関連する連絡網のたたき台を松山部会長が作成し、検討する。
6. 理事（特に災害情報収集委員）、さらに一般会員に災害対策の周知・啓蒙が必要。
7. 部会員の増員のため推薦依頼を行う必要がある。

以上の内容で活動していきますので宜しくお願いします。（浅野会長）

2. 青年部（仮称）の設置について

健康保健センターの白田さんをお願いして了承を得た。（浅野会長）

3. 会費について

現在コロナ禍で事業ができない状況で、今後事業のやり方も変わってきて会費の値下げができないかと思う。これからいろいろ精査して根拠を積み上げて検証していきたい。値下げの承認は総会での承認が必要なので、来年度の総会に向けて検証していくためにタスクホースを立ち上げたい。メンバーは渡邊（宜）学術部長、武藤精度管理部長、玉置会計部長、長らく監査をされていた東海細胞の太田会員、兼子前会長をお願いしたい。（浅野会長）

チャットにて全員賛成にて承認された

今月下旬か来月上旬に案内します。(浅野会長)

4. その他

- ・12月下旬までに来年度の事業計画を提出してもらいますので、宜しくお願いします。
- ・開催時間についてのアンケートの結果、意見は割れましたが現状のままが一番多かった
ので、ひとまず土曜日とします。14時以降がよい方もいましたので、次回からは土曜
日の14時からとします。また何かあれば検討します。11月の常務理事会も14時から
とします。
- ・次回12月の理事会ですが、会長の都合で日にちが変更される可能性があります。11月
初旬に12月12日か19日か20日でアンケートをとります。(浅野会長)

議長

印

議事録署名人 武藤 次郎

印

議事録署名人 深川 富法

印